

学科別推薦本コーナー

ここでは、新入生の皆さんに是非読んでもらいたい本を、各学科の先生からご推薦いただきました。これからの大学生活の中で学ぶ分野は学科によって異なりますが、自分が所属する学科のみならず、他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

理学部

①タイトル ②著者 ③出版社 ④推薦コメント ⑤推薦者

応用数学科

- ①**確率論入門 I** ②池田信行 他 共著 ③培風館
 ④確率論の基礎から説き起こした入門書。高校の順列・組み合わせ程度の知識と微積分の知識があれば理解できるが、少々敷居が高いかもしれない。 ⑤高嶋恵三先生
- ①**黄金比とフィボナッチ数** ②R.A. ダンラップ 著 岩永恭雄・松井講介 訳 ③日本評論社
 ④タイトルから想像できるように、数から説き起こし、幾何学などの話題も含んでいる。抽象概念を持ち出すことなく歴史の長い数学の話題から現代的な話題まで話が及んでいる。 ⑤高嶋恵三先生

化学科

- ①**ぼくもノーベル賞をとるぞ!!** ②高分子学会 編著 ③朝日新聞社
 ④日常ごく普通にある「不思議だなあ」と感じることに對して化学、特に高分子化学の視点から答えている著書です。また、この本の中には構造式はもちろん反応式や元素記号もありません。まずは「化学のおもしろさ」と「夢を追いかけることの重要性」を感じ取って下さい! ⑤山田真路先生
- ①**有機化学の学校：初学者のための化学入門対話** ②山口達明 著 ③三共出版
 ④名著「有機化学の理論—学生の質問に答えるノート—」の著者でもある千葉工業大学の山口達明先生による著作。化学の初歩の核心部分を大学教授と大学入試に合格したばかりの学生との対話形式で解説。現代の化学が量子化学に関する知識を基本・土台としていることがよく分かります。 ⑤坂根弦太先生

応用物理学科

- ①**New ベッドサイドを科学する：看護に生かす物理学** ②平田雅子 著 ③学習研究社
 ④物理というと敬遠されがちですが、この本の中ではベッド上の患者さんを移動するのに効率のよい力のかけ方、痛くない絆創膏のはがし方、血圧測定の原理や体温計のお話などを基礎的な物理を用いてやさしく解説してあります。物理を履修したことのない学生のみならずにもお勧めです。 ⑤堀純也先生
- ①**新しい物性物理：物質の起源からナノ・極限物性まで** ②伊達宗行 著 ③講談社
 ④パソコンや携帯電話なしの生活は、今や考えられなくなりましたが、これらの機器は半導体の発見によってもたらされました。この本は、身の回りにある多くの物質を統一的に理解するように書かれていますので、読後は、半導体、カーボンナノチューブなどへの興味が倍加するでしょう。 ⑤藤井佳子先生

基礎理学科

- ①**気候変動+2°C** ②山本良一 著 ③ダイヤモンド社
 ④地球温暖化を地球の平衡からの破綻の始まりとして捕まえ、その経緯、社会の対応、自然現象の変化、取られてきた技術的対処などがテーマ毎に、写真と文のペアで編集されている。地球温暖化に付いての知識を気軽に仕入れるのに適している。さらなる知識や現状は大学の講義で。 ⑤若村国夫先生
- ①**持続可能な未来のための学習** ②ユネスコ 編 ③立教大学出版会・有斐閣
 ④ユネスコの提唱する「持続可能な未来」をキーワードとする環境教育マニュアルのグローバル・スタンダード版で生活スタイルの改めるべき内容が記述されている。 ⑤中西稔先生